

# 大阪 ぼしれん

発行所 社会福祉法人  
大阪府母子寡婦福祉連合会  
発行人 滝本 美津代  
大阪府中央区谷町5丁目4番13号  
大阪府谷町福祉センター内  
電話 06(6762)9995(代)  
FAX 06(6762)3796  
URL: <http://www.osakafu-boshiren.jp/>  
(1部 20円)  
年4回(5、8、11、新年号発行)

2017  
**8**月号

(234号)

## トピックス

- 1面 あいさつ・母の集い
- 2面 決議・近畿大会  
暗養奨学金給付式
- 3面 指導者研修会  
春のお母さん旅行
- 4面 ブロック交流会  
就業支援講習会

## 就任ごあいさつ



大阪府母子寡婦福祉連合会 理事長 滝本 美津代  
(写真中央)

この度、社会福祉法改正に伴い、6月23日付で再度、理事長を拝命することになりました。あっという間の2年間、私なりに一生懸命努めてまいりました。今後も、会員様の声を聴き、母子と寡婦の連携を密にし、また、市町村とも一層深い関係を築いて頑張っていきたいと思います。

今年、母子部結成40周年ということで、「母子家庭母の集い」をドーンセンターで開催しましたが、大勢の参加をいただき、有難うございました。これからも、「母子部会」が活躍し、会の発展に力を貸して下さることを願っています。

最後になりましたが、行政各位の皆様には、今後共、ご支援、ご指導下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪府母子寡婦福祉連合会 副会長  
就業自立支援センター業務執行理事 芝野 節子  
(写真左)

この度の役員改選により、引き続き副会長を務めさせていただくことになりました。滝本理事長のもとで、少しでも皆様のお役に立てる様、精一杯頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。今年度は福祉法改正により、4月には新評議員が6月には新理事も決まり、新しい大阪府母子寡婦福祉連合会がスタートしました。母子家庭や寡婦の皆さんの暮らしの安定と向上を実現し、希望の持てる将来となるよう取り組みを進めていきたいと思っています。今後とも、変わらぬご支援ご協力をお願い致します。

大阪府母子寡婦福祉連合会 副会長  
収益事業業務執行理事 坪井 素子  
(写真右)

皆様、いつも大阪府母子寡婦福祉連合会にご指導、ご支援ありがとうございます。

この度の法改正により法人の在り方が、なお一層厳しくなっております。副会長2期目を引き続きお受けする事になりました。また、収益事業業務執行理事という立場で大変なプレッシャーが掛かりますが、次代を担う人達のため、少しでも役に立てたらと思っています。微力ながら皆様と一丸となり、大阪府母子寡婦福祉連合会のため、頑張っていきたいと思います。

## 母子部結成40周年記念 大阪府母子家庭母の集い



挨拶する滝本理事長

7月16日(日)多数のご来賓に臨席いただき、大阪府並びに市町村行政関係者のご協力のもと「大阪府母子家庭母の集い」をドーンセンターにて約500名が参加し開催しました。

当日の保育児童は35名。

第1部は古賀母子部副会長の司会で開会し、滝本理事長の挨拶の後、各市町村から推薦された母子家庭の母28名と永年勤続職員2名が理事長表彰を受賞しました。2名の子どもによる作文の発表があり、その後、母子部代表者が「決議案」を提案。参加者一同の賛同により、採択されました。(決議は2面に掲載)



決議を提案する  
奥田・柿畑母子部代表(左から)

第2部では、アトラクション「情熱のフラメンコ」の色鮮やかな衣装と華やかな舞台に見とれました。その後、連合会母子部篠原会長をプレゼンターに「私たちのあしあと」と題し、昭和25年結成以来の連合会の歴史と活動をDVDとスライドを使い振り返り、改めて、連合会の在り方や課題などを再認識することができました。



「私たちのあしあと」

リリーエコーのコーラスでは、浴衣に法被姿で夏祭りをテーマに歌い、最後は「河内おとこ節」を壇上で母子部が踊り、とても盛り上がりました。母子部結成40周年を記念して抽選会があり、当選番号を発表する度、会場から歓声が上がリ盛況の裡に夏らしい大会が終わりました。

# 平成29年度 近畿地区母子寡婦福祉研修大会

6月25日(日) ホテルアゴラリーゼンシー堺に於いて「支え合い、共に目指そう明るい未来」をメインテーマに、平成29年度近畿地区母子寡婦福祉研修大会が開催されました。近畿地区から約700名が集い、大阪府からは94名が参加しました。開会式の後、厚生労働省 雇用均等児童家庭局 家庭福祉課 母子家庭自立支援室 室長 補佐 度会哲賢氏による行政説明があり、ひとり親家庭への支援施策について説明されました。研修討議では、龍谷大学副学長、社会学部教授 長上深雪氏をコーディネーターに迎え、近畿地区から5人の発表者が自らの体験や会での活動等を発表しました。ひとり親となり子育てに奮闘する中、母子会と出会い助けられたというお話や子育てに一段落し、学習支援や子どもの居場所づくりに取り組んでいるというお話があり、助言者の方々からも堺市で子ども食堂をモデル的に実施していることやマザーズハローワークの現状などを聞くことが出来、有意義な時間となりました。決議、大会宣言と進み、次回京都府での再会を誓い閉会しました。



## 決 議

平成29年“大阪府母子家庭母の集い”において、母子家庭及び寡婦福祉の更なる向上を図るため参加者一同の総意により次の事項を決議し、その実現を関係機関に強く要望します。

### 《府・市町村へ要望するもの》

1. 大阪府ひとり親家庭医療費助成制度については、母子の健康が自立の基盤となることから、なによりも将来を担う子どもの健やかな育成を図るため、この制度の現行要件を維持することはもとより、所得要件については同居親族の所得ではなく、本人のみの所得を基準とされたい。
2. 母子家庭の母の雇用にあたっては、就業の支援に関する特別措置法に基づき自治体や地元企業で正規雇用の拡大を図るなど、支援体制の積極的な取り組みを促進されたい。
3. 母子・父子自立支援員については、母子家庭等の総合的な相談窓口として最も重要な役割を担うため、常時きめ細かな支援ができるよう、勤務体制について特別の配慮をされたい。
4. 府・市営住宅への母子世帯の入居については、母と子の生活の安定と早期の自立を図るため、特に配慮されたい。
5. 保育所については、就業環境の整備を図るため、特別の配慮をされたい。
  - ①就労、求職活動、職業訓練を行うに際し、即時入所を図られたい。
  - ②同居親族の有無にかかわらず入所を認められたい。
  - ③病後児保育を少なくとも中学校区に1ヶ所は実施されたい。
6. ファミリー・サポート・センター事業を利用する母子世帯については、母の所得に応じて利用料金の軽減を図られたい。
7. 保育料の算定については未婚の母に対しても寡婦控除を「みなし適用」されたい。
8. 母子家庭の母の雇用対策事業等として母子・父子福祉団体が運営する公共施設内等の売店や自動販売機の設置については「母子及び父子並びに寡婦福祉法」及び「特別措置法」の理念に基づき許可されたい。

### 《国へ要望するもの》

1. 児童扶養手当制度については、生活実態に合わせて見直されたい。
  - ①所得制限の収入認定額を緩和されるとともに同居親族の所得要件を廃止されたい。
  - ②子どもが進学する場合18歳到達後の年度末から大学や専門学校卒業時まで支給期間を延長されたい。
  - ③安定した生活設計を立てられるよう支給回数を増加されたい。
2. 養育費の支払いについては離婚当事者への周知啓発の強化や、国による養育費の立替え払い制度などを創設されたい。
3. 「ひとり親家庭医療費助成制度」については、居住地にかかわらず格差なく負担をし、あるいは助成が受けられるよう、国による新たな助成制度を創設されたい。
4. 所得税、地方税において、扶養親族のいない生別寡婦にも寡婦控除を適用するとともに、未婚の母に対しても同様の控除を適用されたい。

平成29年 7月16日

平成29年 大阪府母子家庭母の集い 参加者一同

## 平成29年度 皓養奨学金給付式



宮本理事長にお礼の言葉を述べる奨学生

6月10日(土) 谷町福祉センターに於いて、奨学生186名が参加し皓養奨学金給付式を行いました。皓養奨学金は昭和48年より毎年、一般財団法人皓養社様から多額の寄付をいただき行っています。

滝本理事長のあいさつから式は始まり、皓養社の宮本理事長からの励ましのお言葉を、今年はお母さん方も一緒に伺いました。戦争により父親を失い母子家庭となった子ども達を明るく養おうとこの奨学金の給付を始めたというお話や、仏教の四苦八苦のお話。また、私たちの命は、お母さんのお腹の中に居る時から尊い命であり、皆の願いのこもった大切な命であるということ、そう考えれば、いじめや暴力などは起こらない。これからの苦難を乗り越え、社会に貢献できる人になってほしいと話されました。その後、昨年の受給者からのお礼の手紙を披露し、閉会となりました。

# 春のお母さん旅行

6月18日(日)曇り空の少し肌寒い大阪から総勢47名バス1台で瀬戸内へと向かいました。梅雨に入ったというのに、途中からは陽も差し、広島県竹原の街並みを散策する頃にはカンカン照りに。日陰を探して、地元ガイドの説明を聞きながら漆喰壁と格子に昔ながらの屋根瓦の家々を見て回りました。竹原港からフェリーに乗り、きのえ温泉に到着。瀬戸内海の景色が見渡せる露天風呂で旅の疲れを癒しました。



竹原の街並み



耕三寺 考養門

2日目、19日(月)は大三島へ渡り伯方の塩工場を見学し、その後、大山祇神社を参拝。しまなみ海道をバスで渡り生口島、西の日光耕三寺を拝観しました。日光東照宮陽明門を模して造られたという考養門とその奥の平等院鳳凰堂を模したという本堂の豪華さに目を奪われました。ここ耕三寺には千仏洞地獄峡という350mのトンネルがあり、たくさんの仏像が岩に彫られ、また地獄観や極楽観が描かれており、それらを見ながら歩いていると、ひんやりとした異空間に迷い込んだようでした。また未来心の丘は大理石でできたアートが楽しめ、上まで登ると真っ白なオブジェの向こうに瀬戸内と町の絶景が見渡せました。しまなみ海道を抜け尾道へと渡って大阪に戻り、瀬戸内の島をめぐり穏やかな海を堪能した旅を終えました。

## 第3回 働く女性・働きたい女性のための「お悩み」相談会

働く女性、これから働きたい女性のいろいろな悩みを解決するため、専門機関の相談員が無料で対応する相談会を開催します。お仕事探しや起業の悩み、ひとり親家庭の生活相談、職場のハラスメント、など女性を取り巻く様々な悩みについて、相談に応じます。お気軽にお越しください。



日時

9/1(金) 2(土) 両日 10:00~16:50 (受付は16:00まで)

会場

大阪府立男女共同参画・青少年センター (ドーンセンター) 4階 中会議室① ほか

大阪府中央区大手前1-3-49

最寄り駅:京阪・地下鉄「天満橋」ほか

一時保育 無料 8月25日(金)までに予約

相談料 無料

予約方法 インターネット

大阪府 男女 トピックス

検索

## 指導者研修会

6月4日(日)谷町福祉センターに於いて、78名が参加し大阪府母子寡婦福祉連合会指導者研修会を開催しました。連合会名誉理事長 鉄崎智嘉子氏を講師に迎え、「組織の必要性と運動の必然性」～母子連のあゆみと運動の成果～をテーマに講演していただきました。連合会の成り立ちや、今日ある施策は先人達の訴えによるものであり、連合会は母子福祉を推進するための運動体であるということなどを話され、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。

監事		理事		連合会役員 (任期 平成29年6月21日~31年定時評議員会)
橋本 雅世 (橋本雅世税理士事務所所長)	中野 昇 (前一般財団法人 大阪民間社会福祉事業従事者共済会 常務理事)	東山 健 (悠々の苑施設長)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	
山口 平八郎 (元枚方市助役)	山口 大造 (社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会理事長)	草川 敏郎 (社会福祉法人 聖徳会理事長)	岩田 昌美 (龍谷大学名誉教授)	理事 芝野 節子 (連合会副会長・柏原市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	山本 敏郎 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	中野 昇 (前一般財団法人 大阪民間社会福祉事業従事者共済会 常務理事)	理事 坪井 素子 (連合会副会長・吹田市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 杉野 牧子 (茨木市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 甲斐 信子 (泉佐野市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 土川 好子 (門真市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 岡本 千代子 (枚方市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 佐古 加代子 (池田市母子寡婦福祉会会長)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 石伏 宣夫 (連合会相談役)
井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	井手之上 優 (社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会常務理事)	理事 中垣 昌美 (龍谷大学名誉教授)

# ブロック交流会

お住まいの市町村	活動日	イベント場所	イベント内容
泉大津市・和泉市・高石市・忠岡町 岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市 阪南市・熊取町・岬町・田尻町	11月26日(日)	忠岡シビックセンター	母子父子自立支援員さんによる相談コーナーや子ども達はビックバンの移動ミュージアムで楽しく遊ぼう!
吹田市・高槻市・茨木市・摂津市 島本町	7月30日(日)	ハーベストの丘	自然の中で遊び動物とのふれあいや親子でソーセージ作りを体験!
豊中市・池田市・箕面市・豊能町 能勢町	10月29日(日)	スノーピーク箕面	地元の野菜を使い親子で楽しくバーベキュー大会!
八尾市・松原市・柏原市・東大阪市	10月29日(日)	ワールド牧場	電車移動の小旅行体験。親子で動物たちとふれあい、バーベキューでお腹いっぱい!
富田林市・河内長野市・羽曳野市 藤井寺市・大阪狭山市・太子町 河南町・千早赤阪村	11月12日(日)	ハーベストの丘	自然の中で動物とのふれあいや、色々な体験を通して親子で楽しい1日を過ごそう!
守口市・枚方市・寝屋川市・大東市 門真市・四條畷市・交野市	11月26日(日)	ひらかたパーク	お母さん同士で悩みを相談したり親子で楽しく遊園地で過ごそう!

お住まいの市町村でひとり親家庭の親子が集まり、楽しいイベントを開催する予定です。

事前にお申し込みが必要ですので、詳細などお問い合わせは、大阪府母子寡婦福祉連合会まで!

電話：06-6762-9995

## 就業支援講習会

エクセル試験対策と ワードの基礎知識	11月19日～1月21日(日曜日) ※12/24・ 高槻市立総合市民交流センター 12/31休み 受講料：教材費込 7,000円	10:00 ～16:00	全8回	(25名)	【締切】 10/19
パソコン初級 ～ エクセル試験対策	2月3日～3月17日(土曜日) 大阪府谷町福祉センター 受講料：教材費込 5,000円	10:00 ～16:00	全7回	(20名)	【締切】 1/3
調剤事務 管理士	9月24日～11月19日(日曜日) ※10/15休み 検定 11月25日(土曜日) 別会場 東大阪市男女共同参画センター・イコララム 受講料：教材費、検定料込13,000円	10:00 ～16:00 (講義により 変更あり)	全9回	(23名)	【締切】 8/24
医師事務 作業補助者 養成	1月27日～3月17日(土曜日) 大阪府谷町福祉センター 受講料：教材費込 8,000円	9:30 ～15:30	全8回	(15名)	【締切】 12/27

問い合わせは下記の大阪府母子家庭等就業・自立支援センターまで TEL 06-6762-9995・9498

### ● 就業支援講習会申し込み方法

<b>対象</b>	大阪府内の母子家庭の母・父子家庭の父・寡婦(大阪市、堺市、豊中市除く)	<b>申込方法</b>	往復はがきに、①希望講座名 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号(自宅・携帯) ⑦受講動機 ⑧保育希望者は子の氏名・年齢
<b>申込・問合先</b>	〒540-0012 大阪市中央区谷町5丁目4番13号 大阪府谷町福祉センター内 大阪府母子家庭等就業・自立支援センターまで	<b>注意事項</b>	①受付は、開講2か月前。1講座につき1通 ②応募多数の場合は締切後抽選 ③各講座で就職セミナーが必須 ④日程は変更になる場合あり ⑤全講座保育あり(2才～小学校入学前) ⑥車での来館はできません (申込み書記載の個人情報(講座・就労等)以外は使用いたしません)
<b>申込資格</b>	次の要件をすべて満たす方 ①大阪府内(大阪市、堺市、豊中市にお住まいの方を除く)に居住する母子家庭の母・父子家庭の父・寡婦 ②求職中の方(求職登録をされている又はされる方)、又は就業中でスキルアップのため資格取得を目指す母子家庭の母・父子家庭の父・寡婦		

### 訂正とお詫び

大阪ぼしれん2017年5月号(233号)4ページ、お礼の記事に誤りがありました。

今春小学校に入学する当連合会会員の子ども達97名にランドセルを寄贈していただきました。今年で3年目になります。という箇所の97名が85名、3年目が4年目の誤りでした。ここで、訂正するとともに、お詫びいたします。